



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 セーレン株式会社

上場取引所 東

コード番号 3569 URL <http://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 川田 浩司

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,496	28.5	2,844	44.0	3,001	44.1	1,248	66.9
2020年3月期第2四半期	60,817	1.3	5,078	0.2	5,371	4.7	3,772	12.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 190百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 2,936百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.48	22.30
2020年3月期第2四半期	67.56	67.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	124,990	78,621	61.9	1,393.17
2020年3月期	126,480	79,726	62.0	1,414.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 77,394百万円 2020年3月期 78,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.00		18.00	36.00
2021年3月期		18.00			
2021年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表いたしました「2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	25.2	6,000	42.9	6,300	44.0	3,500	59.1	63.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	64,633,646 株	2020年3月期	64,633,646 株
2021年3月期2Q	9,080,696 株	2020年3月期	9,165,521 株
2021年3月期2Q	55,516,629 株	2020年3月期2Q	55,829,418 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な需要縮小ならびに経済活動の制約の影響により、依然として厳しい状況にあります。

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、従業員はもとより、お客様やお取引先、地域社会における感染拡大を防ぐため、全社グループで徹底した感染防止対策を実施しております。また、急速に悪化する事業環境に対し全社で危機意識を共有し、徹底した経費削減を中心とする「コロナ緊急対策」をいち早く断行し、全社一丸となって対策に取り組んでおります。

また、厳しい経営環境においても、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果すため、“イノベーション×顧客開発”と“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第2四半期の連結業績は、売上高 434 億 96 百万円（前年同期比 28.5%減）、営業利益 28 億 44 百万円（同 44.0%減）、経常利益 30 億 1 百万円（同 44.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 12 億 48 百万円（同 66.9%減）となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

新型コロナウイルス感染症拡大により、全世界で自動車の生産および販売活動に大きな影響が及んでいます。

国内（2020年4月～9月）では、感染拡大防止に向けた政府の緊急事態宣言を受け、自動車の生産・販売活動は制限を余儀なくされ、国内の自動車生産および販売台数が大幅に減少しました。その結果、当社グループの国内事業は売上高を落とし、前年同期比で減収・減益となりました。

海外（2020年1月～6月）では、最初に感染拡大が始まった中国（世聯汽車内飾（蘇州）有限公司、世聯汽車内飾（河北）有限公司）において、外出規制により操業日数が大幅に減少した2月、3月に売上高が減少しましたが、4月以降は自動車販売市場とともに回復基調に移っています。その後、全世界に感染拡大が進行し、米国（Seiren North America, LLC）、メキシコ（Seiren Viscotec Mexico S.A. de C.V.）、ブラジル（Seiren Produtos Automotivos Ltda.）、タイ（Saha Seiren Co., Ltd.）、インドネシア（PT. SEIREN INDONESIA）でも3月後半から影響が見られ、海外における上半期（2020年1月～6月）においては大きく影響し、結果、海外事業全体では、前年同期比で減収・減益となりました。

当事業の売上高は 239 億 76 百万円（前年同期比 32.1%減）、営業利益 17 億 72 百万円（同 38.9%減）となりました。

(ハイファッション事業)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた、政府の緊急事態宣言を受け、百貨店をはじめとする衣料品の主力販売店舗の休業、各種スポーツイベントの中止、学校の休校など、衣料品の消費が急激に落ち込みました。淘汰が進むアパレル業界では、国内外で老舗ブランドや大手アパレルの破綻、大規模な店舗数削減の動きが見られ、生き残りをかけた競争は一層厳しさを増しています。

このような環境のなか、BtoB事業の客先であるスポーツアパレル、ファッションアパレル、インナーアパレルが、ともに苦戦を強いられ、当社グループにおいては、衣料向けテキスタイルおよび製品の発注数量の減少、キャンセルや延期、新規企画の中止の影響を受け、売上高を落としました。2020年春夏向けの販売機会を逸した客先では、在庫の増加や先行投資の抑制など、事業環境の回復にはかなりの時間を要すると想定されます。

今後、大きく変化していくであろうアパレル業界において、多彩な商品展開を在庫レスで実現し、消費者はバーチャル試着で好みの商品をオーダーすることができるセーレン独自の「Viscotecs make your brand®」こそが、時代にマッチした衣料品の製造販売プラットフォームと考え、ファッション向けBtoB事業における店舗数拡大とアイテム拡大に注力していきます。

当事業の売上高は80億30百万円（前年同期比35.2%減）、営業損失は2億6百万円と、前年同期比で6億49百万円の減益となりました。

（エレクトロニクス事業）

新型コロナウイルス感染症拡大により、全世界で外出規制が実施されました。リモートワークの急速な拡大や外出機会の減少による巣ごもり需要を背景に、ハードディスクやゲーム機器の需要が高まり、KBセーレン(株)のワイピングクロス「ザヴィーナ®」や導電性素材「プラット®」において特需がありました。また、導電系「ベルトロン®」の欧州市場向けの販売は、外出規制による消費低迷の影響を受け、売上高が減少しました。また、スーパー繊維「ゼクシオン®」は生産能力の増強を行い、今後も新規顧客開拓ならびに用途開発を進めていきます。

当事業の売上高は48億23百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は6億79百万円（同37.7%減）となりました。

（環境・生活資材事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた、政府の緊急事態宣言を受け、店舗の休業、住宅展示場への来客の減少、病院経営の悪化、企業の経費削減により、当セグメントの市場にも影響が及んでいます。

当セグメント主力のハウジング資材事業では新設住宅着工戸数の今後の落ち込み、また、オフィス・インテリア資材事業でも新規案件の減少が懸念され、客先での在庫調整、発注数量の減少や発注延期の影響を受け、売上高が減少しました。また、病院や介護施設等においても先行きの不透明さから、ベッド等の備品購入を見送る動きが見られ、関連製品の売上高が減少しました。

当事業の売上高は34億27百万円（前年同期比18.8%減）、営業利益は3億83百万円（同16.7%減）となりました。

（メディカル事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた、政府の緊急事態宣言を受け、百貨店をはじめとする店舗の休業により、当社の独自技術で商品化した、繭から生まれた天然成分「ピュアセリシン™」配合のコモエース化粧品が減少しました。また、KBセーレン(株)の「エスパンシオーネ®」（特殊素材）などのグループ一貫機能を活かした医療用資材では、病院の一般診療の減少にともない、既存客先での売上高の減少がありましたが、新規客先からの受注獲得もあり、医療用資材は総じて売上高が伸びました。同じくKBセーレン(株)の特殊原系「ベルカップル®」についても、水処理施設向けの特需を受け、売上高を伸ばしました。

当事業の売上高は28億11百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は6億58百万円（同7.5%減）となりました。

（その他の事業）

（株）ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業等が堅調に推移しましたが、セーレンコスモ(株)の人材派遣事業が市況の悪化を受け苦戦しました。

当事業の売上高は4億27百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は2億49百万円（同5.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して14億90百万円減少の1,249億90百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による金融環境の変化に備えた現金及び預金の増加があり、前連結会計年度末と比較して3億8百万円の増加となりました。固定資産は、海外子会社の財務諸表の換算レートが円高になったことなどにより、前連結会計年度末と比較して17億98百万円減少しました。負債の部は、支払手形及び買掛金の減少などにより、3億84百万円減少し、463億69百万円となりました。純資産は、為替換算

調整勘定の変動などにより、全体で11億5百万円減少し、786億21百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は246億53百万円となり、前連結会計年度末より79億5百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、47億75百万円の収入（前年第2四半期連結累計期間は78億53百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21億10百万円、減価償却費23億21百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、5億18百万円の収入（前年第2四半期連結累計期間は11億99百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13億92百万円があった一方で、定期預金の取り崩しによる収入が19億65百万円あったことによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、32億41百万円の収入（前年第2四半期連結累計期間は20億88百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の純増による収入42億96百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日公表した当第2四半期（累計）連結業績および現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定しました通期業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,192	27,132
受取手形及び売掛金	26,333	21,870
有価証券	177	195
商品及び製品	11,152	10,607
仕掛品	3,028	2,809
原材料及び貯蔵品	4,829	4,464
その他	1,871	1,819
貸倒引当金	△57	△62
流動資産合計	68,528	68,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,329	20,333
機械装置及び運搬具（純額）	10,358	9,306
工具、器具及び備品（純額）	549	506
土地	11,937	11,929
リース資産	317	264
建設仮勘定	1,366	1,514
有形固定資産合計	45,859	43,855
無形固定資産		
のれん	1,126	1,045
その他	2,913	2,740
無形固定資産合計	4,040	3,785
投資その他の資産		
その他	8,155	8,619
貸倒引当金	△104	△107
投資その他の資産合計	8,051	8,512
固定資産合計	57,952	56,153
資産合計	126,480	124,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,009	10,514
短期借入金	2,980	2,947
未払法人税等	678	938
賞与引当金	1,218	1,267
その他	4,697	4,217
流動負債合計	24,584	19,885
固定負債		
長期借入金	13,919	18,248
役員退職慰労引当金	160	131
退職給付に係る負債	6,261	6,390
その他	1,828	1,712
固定負債合計	22,169	26,483
負債合計	46,754	46,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,805	16,794
利益剰余金	56,068	56,325
自己株式	△11,533	△11,424
株主資本合計	78,860	79,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,426	1,914
為替換算調整勘定	△1,847	△3,736
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	△420	△1,821
新株予約権	557	539
非支配株主持分	728	686
純資産合計	79,726	78,621
負債純資産合計	126,480	124,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	60,817	43,496
売上原価	44,644	31,276
売上総利益	16,173	12,219
販売費及び一般管理費	11,094	9,374
営業利益	5,078	2,844
営業外収益		
受取利息	111	137
受取配当金	70	78
雇用調整助成金	—	378
為替差益	50	—
その他	144	201
営業外収益合計	377	796
営業外費用		
支払利息	54	26
為替差損	—	585
その他	31	27
営業外費用合計	85	638
経常利益	5,371	3,001
特別利益		
固定資産売却益	2	5
特別利益合計	2	5
特別損失		
固定資産処分損	8	44
操業休止関連費用	—	※ 843
投資損失引当金繰入額	57	—
その他	—	9
特別損失合計	65	897
税金等調整前四半期純利益	5,308	2,110
法人税等	1,509	869
四半期純利益	3,798	1,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,772	1,248

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,798	1,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	487
為替換算調整勘定	△901	△1,919
退職給付に係る調整額	△44	0
その他の包括利益合計	△862	△1,431
四半期包括利益	2,936	△190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,903	△152
非支配株主に係る四半期包括利益	32	△37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,308	2,110
減価償却費	2,524	2,321
固定資産処分損益 (△は益)	5	38
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	19
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	57	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	50
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	100
受取利息及び受取配当金	△182	△216
支払利息	54	26
為替差損益 (△は益)	△115	849
売上債権の増減額 (△は増加)	2,675	3,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	779	573
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,753	△4,127
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21	△246
その他	△53	△225
小計	9,349	5,213
利息及び配当金の受取額	181	220
利息の支払額	△54	△26
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,623	△632
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,853	4,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,752	△1,392
有形固定資産の売却による収入	4	12
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△321	△16
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	23
定期預金の純増減額 (△は増加)	909	1,965
その他	△39	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△950	△11
長期借入れによる収入	2,600	5,000
長期借入金の返済による支出	△1,378	△692
自己株式の取得による支出	△999	△0
配当金の支払額	△1,121	△998
非支配株主への配当金の支払額	△9	△4
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△178	—
その他	△50	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,088	3,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△336	△630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,228	7,905
現金及び現金同等物の期首残高	12,187	16,747
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	136	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,552	24,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結損益計算書関係)

※ 操業休止関連費用は、コロナウィルスの感染拡大の影響により国内外の一部の工場が操業休止した期間の固定費相当額（人件費や減価償却費等）であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	35,308	12,385	5,592	4,220	2,858	60,365	452	60,817	—	60,817
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	12	108	51	2	175	458	633	△633	—
計	35,308	12,398	5,700	4,271	2,861	60,540	910	61,451	△633	60,817
セグメント利益又は損失 (△)	2,901	443	1,090	460	711	5,607	263	5,870	△792	5,078

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,976	8,030	4,823	3,427	2,811	43,068	427	43,496	—	43,496
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	14	114	28	1	158	265	424	△424	—
計	23,976	8,044	4,937	3,455	2,813	43,227	693	43,920	△424	43,496
セグメント利益又は損失 (△)	1,772	△206	679	383	658	3,287	249	3,536	△692	2,844

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システムおよびサブライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第2四半期連結累計期間829百万円、当第2四半期連結累計期間724百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。